

遮水壁内地下水（揚水井戸）のモニタリングについて

1 趣旨

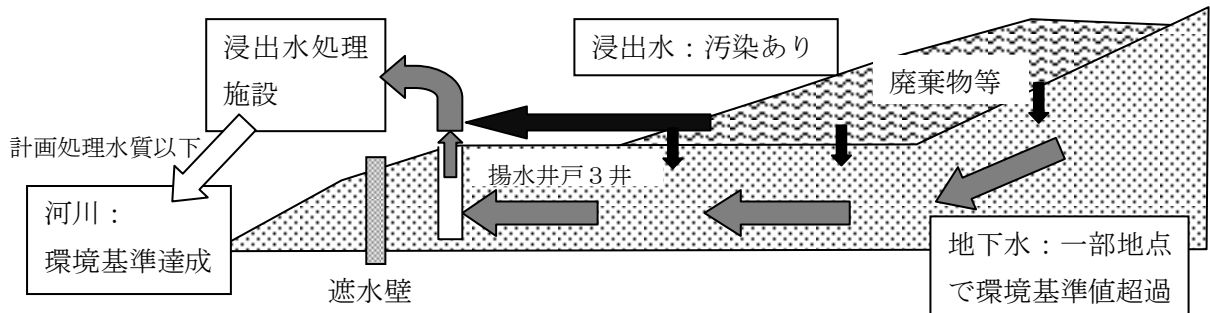
遮水壁内側に溜まった地下水は西側遮水壁内側（谷底部）の揚水井戸（3井）から揚水し、廃棄物の浸出水と混合された後、浸出水処理施設で処理している。

廃棄物等の撤去が進み廃棄物の露出面積や残存量が少なくなると、廃棄物からの浸出水は少なくなり、地下水の割合が増え、水質も変化すると考えられる。

現状では、廃棄物からの浸出水と揚水井戸から汲み上げた地下水が混合された後の水質（浸出水処理施設の流入水質）は把握しているが、揚水井戸単独の水質はモニタリングしていない。

今後の撤去進行に伴う揚水井戸の水質の状況を把握し、浸出水処理施設の適切な稼働に資するため、次年度から揚水井戸の地下水のモニタリングを開始することとし、今年度内にその内容を検討のうえ、モニタリング計画に組み込むこととする。

2 浸出水と地下水の処理フローとモニタリング地点



水質モニタリング位置図(遮水壁内)

